



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 ヨシコン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5280 URL <https://www.yoshicon.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田尚洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 杉本貞章 (TEL) 054-205-6363  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,953	△15.2	811	△24.8	921	△24.9	591	△25.0
2022年3月期第2四半期	9,376	39.5	1,077	250.9	1,227	79.1	788	72.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 636百万円(△31.5%) 2022年3月期第2四半期 929百万円(91.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	82.42	—
2022年3月期第2四半期	106.21	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	29,718	22,953	76.8
2022年3月期	32,216	22,703	70.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 22,810百万円 2022年3月期 22,558百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	48.50	48.50
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期(予想)			—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	4.6	2,700	13.8	2,750	5.0	1,700	3.4	236.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	8,030,248株	2022年3月期	8,030,248株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	866,893株	2022年3月期	832,493株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	7,176,012株	2022年3月期2Q	7,426,724株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、経済活動の正常化に向けて、景気の緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、為替相場における急速な円安進行やエネルギー価格や原材料価格の高騰などにより、先行きが不透明な状況で推移いたしました。また海外経済におきましても、ロシア・ウクライナ情勢を背景とした世界的な物価上昇、欧米各国の金融引き締めによる金利上昇や中国経済の減速など、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する不動産業界でも厳しい状況で推移いたしました。このような環境下にあつて当社グループの不動産事業分野では、新規分譲マンションの販売及び企業誘致や宅地造成などの積極的な提案営業を継続してまいりました。また、不動産証券化事業への取組み強化として、上場不動産投資法人に向けての収益不動産の開発・獲得・供給を積極的に行つてまいりました。

建設土木業界に属するマテリアル事業分野では、工場設備を有しないファブレスの考えを基礎とし、製品企画などを強みとする営業活動を実施してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は79億53百万円（前年同四半期比15.2%減）、営業利益は8億11百万円（前年同四半期比24.8%減）、経常利益は9億21百万円（前年同四半期比24.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億91百万円（前年同四半期比25.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①レジデンス事業

レジデンス事業におきましては、新規一棟売り分譲マンションの引渡しが行われたことにより、大幅な増収増益となりました。この結果、売上高は36億77百万円（前年同四半期比769.5%増）、セグメント利益（営業利益）は7億76百万円（前年同四半期比-）となりました。

#### ②不動産開発事業

不動産開発事業におきましては、分譲宅地や商工業施設用地などの引渡しが行われましたが、不動産投資法人への上場時引渡しがあつた前年同四半期と比べ、大幅な減収減益となりました。この結果、売上高は13億83百万円（前年同四半期比73.4%減）、セグメント利益（営業利益）は2億24百万円（前年同四半期比76.6%減）となりました。

#### ③賃貸・管理等事業

賃貸・管理等事業におきましては、資産運用会社にて不動産投資法人の上場時売上などがあつた前年同四半期と比べ、減収減益となりました。この結果、売上高は15億52百万円（前年同四半期比31.6%減）、セグメント利益（営業利益）は1億14百万円（前年同四半期比68.2%減）となりました。

#### ④マテリアル事業

マテリアル事業におきましては、製品企画などを強みとする営業活動を実施しましたが、減収減益（セグメント損失）となりました。この結果、売上高は5億32百万円（前年同四半期比29.1%減）、セグメント損失（営業損失）は26百万円（前年同四半期は8百万円のセグメント損失）となりました。

#### ⑤その他

その他事業におきましては、缶飲料製造の売上高が増加したものの、燃料費などの費用増をまかなえず、増収減益となりました。この結果、売上高は8億8百万円（前年同四半期比11.5%増）、セグメント利益（営業利益）は15百万円（前年同四半期比57.4%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は297億18百万円（前連結会計年度比7.8%減）となりました。

流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産などが増加したものの、現金及び預金などが減少したことにより、225億97百万円（前連結会計年度比9.7%減）となりました。固定資産は、その他に含まれる差入保証金や投資有価証券などが増加したものの、繰延税金資産などが減少したことにより、71億20百万円（前連結会計年度比0.8%減）となりました。

### (負債)

流動負債は、その他に含まれる契約負債や短期借入金などが減少したことにより、37億37百万円（前連結会計年度比38.3%減）となりました。固定負債は、長期借入金などが減少したことにより、30億26百万円（前連結会計年度比12.5%減）となりました。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は229億53百万円（前連結会計年度比1.1%増）となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金などが増加したことによるものであります。

### (自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は76.8%（前連結会計年度比6.8ポイント増）となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、13億86百万円（前年同四半期比46.3%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益（9億19百万円）や棚卸資産の減少（1億34百万円）、未払金の増加（1億20百万円）などによる資金調達に対し、売上債権の増加（△2億49百万円）や前受金の減少（△12億6百万円）、法人税等の支払（△4億1百万円）などにより支出した結果、営業活動により支出した資金は13億2百万円（前年同四半期は1億78百万円の収入）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の売却による収入（20百万円）などによる資金調達に対し、固定資産の取得（△5百万円）やその他に含まれる差入保証金の差入（△1億円）などにより支出した結果、投資活動により支出した資金は83百万円（前年同四半期は59億95百万円の収入）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純減（△7億60百万円）や長期借入金の返済（△1億35百万円）、配当金の支払（△3億49百万円）などにより支出した結果、財務活動により支出した資金は12億81百万円（前年同四半期は47億21百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で、2022年4月28日公表の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,254,351	1,586,821
受取手形、売掛金及び契約資産	893,479	1,142,526
商品及び製品	21,231	20,048
原材料及び貯蔵品	13,242	9,952
販売用不動産	19,621,737	19,556,918
未成工事支出金	11,296	15,725
その他	225,607	269,803
貸倒引当金	△3,141	△4,398
流動資産合計	25,037,803	22,597,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	469,417	445,661
土地	1,655,252	1,617,218
その他（純額）	96,224	67,093
有形固定資産合計	2,220,893	2,129,974
無形固定資産	54,590	45,243
投資その他の資産		
投資有価証券	4,447,870	4,534,829
繰延税金資産	144,332	—
その他	384,929	485,063
貸倒引当金	△73,751	△74,257
投資その他の資産合計	4,903,380	4,945,635
固定資産合計	7,178,864	7,120,852
資産合計	32,216,668	29,718,249
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,032,699	930,662
短期借入金	2,000,000	1,240,000
1年内返済予定の長期借入金	274,135	470,502
未払法人税等	402,560	176,210
賞与引当金	45,705	52,211
役員賞与引当金	180,000	—
その他	2,118,778	868,132
流動負債合計	6,053,879	3,737,717
固定負債		
長期借入金	2,843,483	2,511,583
その他	616,220	515,126
固定負債合計	3,459,703	3,026,710
負債合計	9,513,583	6,764,428

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,587,284	3,587,284
利益剰余金	19,326,629	19,573,815
自己株式	△693,886	△730,498
株主資本合計	22,320,027	22,530,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	238,254	280,068
その他の包括利益累計額合計	238,254	280,068
非支配株主持分	144,803	143,152
純資産合計	22,703,085	22,953,821
負債純資産合計	32,216,668	29,718,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,376,070	7,953,636
売上原価	7,364,621	6,311,367
売上総利益	2,011,449	1,642,269
販売費及び一般管理費	933,615	831,216
営業利益	1,077,833	811,053
営業外収益		
受取利息	76	55
受取配当金	8,674	66,205
仕入割引	3,158	4,159
匿名組合投資利益	134,327	43,749
受取手数料	1,877	1,837
助成金収入	20,958	10,656
補助金収入	6,054	6,367
その他	11,257	12,454
営業外収益合計	186,385	145,483
営業外費用		
支払利息	33,888	17,902
休止固定資産減価償却費	—	15,791
その他	3,325	1,688
営業外費用合計	37,214	35,382
経常利益	1,227,004	921,153
特別利益		
固定資産売却益	3,931	649
特別利益合計	3,931	649
特別損失		
固定資産除却損	0	2,027
特別損失合計	0	2,027
税金等調整前四半期純利益	1,230,935	919,776
法人税、住民税及び事業税	388,291	179,212
法人税等調整額	6,958	145,938
法人税等合計	395,249	325,151
四半期純利益	835,686	594,625
非支配株主に帰属する四半期純利益	46,898	3,208
親会社株主に帰属する四半期純利益	788,787	591,416



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	835,686	594,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93,913	41,814
その他の包括利益合計	93,913	41,814
四半期包括利益	929,599	636,439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	882,701	633,231
非支配株主に係る四半期包括利益	46,898	3,208

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,230,935	919,776
減価償却費	39,615	48,930
匿名組合投資損益(△は益)	△134,327	△43,749
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,231	1,763
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,267	6,506
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△144,000	△180,000
株式報酬費用	44,150	—
受取利息及び受取配当金	△8,751	△66,260
支払利息	33,888	17,902
固定資産売却損益(△は益)	△3,931	△649
固定資産除却損	0	2,027
助成金収入	△20,958	△10,656
補助金収入	△6,054	△6,367
休止固定資産減価償却費	—	15,791
売上債権の増減額(△は増加)	108,655	△249,047
棚卸資産の増減額(△は増加)	686,419	134,307
未収消費税等の増減額(△は増加)	126,364	△55,376
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,357,113	△102,037
未払金の増減額(△は減少)	△80,205	120,339
未払消費税等の増減額(△は減少)	264,944	△168,923
前受金の増減額(△は減少)	1,712	△1,206,556
預り金の増減額(△は減少)	△2,266	2,101
その他	122,796	△134,778
小計	907,373	△954,955
利息及び配当金の受取額	8,734	52,924
利息の支払額	△29,276	△17,772
助成金の受取額	16,997	11,711
補助金の受取額	6,054	6,367
法人税等の支払額	△731,289	△401,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,594	△1,302,836
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△46,486	△5,588
固定資産の売却による収入	5,560	650
投資有価証券の取得による支出	△1,266,000	—
投資有価証券の売却による収入	916,996	20,317
匿名組合出資金の払戻による収入	6,461,803	1,516
保険積立金の解約による収入	7,280	—
貸付金の回収による収入	1,575	—
その他	△85,251	△100,189
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,995,477	△83,293

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,956,550	△760,000
長期借入れによる収入	2,435,000	—
長期借入金の返済による支出	△612,997	△135,456
自己株式の取得による支出	△280,195	△36,611
配当金の支払額	△351,735	△349,332
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	45,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,721,478	△1,281,400
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,452,593	△2,667,530
現金及び現金同等物の期首残高	1,339,247	4,054,351
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△207,610	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,584,230	1,386,821

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社は、2022年4月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式34,400株の取得を行っており、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が36,611千円増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末において、自己株式は730,498千円となっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	422,947	5,209,133	2,267,565	751,468	8,651,113	724,957	9,376,070
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,000	102,757	105,757	1,739	107,497
計	422,947	5,209,133	2,270,565	854,226	8,756,871	726,696	9,483,567
セグメント利益又は損失 (△)	16,677	962,210	358,296	△8,042	1,329,141	36,426	1,365,567

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、衣料品事業及び保険代理店事業などを含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,329,141
「その他」の区分の利益	36,426
セグメント間取引消去	△2,468
全社費用(注)	△285,265
四半期連結損益計算書の営業利益	1,077,833

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,677,409	1,383,216	1,552,049	532,821	7,145,496	808,140	7,953,636
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	102,850	368,916	471,766	1,295	473,061
計	3,677,409	1,383,216	1,654,899	901,737	7,617,262	809,435	8,426,697
セグメント利益又は損失 (△)	776,568	224,806	114,054	△26,356	1,089,072	15,500	1,104,572

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、衣料品事業及び保険代理店事業などを含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,089,072
「その他」の区分の利益	15,500
セグメント間取引消去	△34,704
全社費用(注)	△258,814
四半期連結損益計算書の営業利益	811,053

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。